**市政トピックス**

**●市民の生命と財産を守る　大崎市消防団出初式**

1月6日、市民会館を会場に大崎市消防団、大崎市婦人防火クラブ約710人が出席し「大崎市消防団出初式」が開催されました。

　大崎市消防団佐藤技団長は「我々消防団はこれまで幾多の災害を経験し、多くの課題と教訓に対して引き続き対処しなければならない。なお一層消防力の強化に努め、市民の生命と財産を守るという消防の使命感を持って任務にあたっていく」と、消防団活動の重要性を団員と共に確認しました。

　また、同会場で行われた古川支団の出初式では、放水訓練が披露されました。

　暖房器具などの使用が多く乾燥するこの時期は、火災が発生しやすい時期といえます。暖房器具は正しく使用し、外出や就寝前は消火を確認するなど、皆さんで防火意識を高く持ちましょう。

写真1：大崎市消防団女性団員の皆さんも出席

写真2：古川支団による一斉放水披露

**●読書を通じて学び楽しむ　大崎市読書感想文コンクール入賞作品表彰**

　幼少期から図書に親しみ、読書の楽しさ、素晴らしさを体験することで、生涯にわたる読書習慣が身に付きます。

　市では、読書活動の普及向上のため「大崎市読書感想文コンクール」を毎年実施しています。

　今年度は、市内小・中学校31校から292点の応募があり、30点の入賞作品が決まりました。

　最高賞の市長賞には高倉小学校２年髙橋ゆいかさんの「ダンゴムシくん、お手紙どうぞ」と古川黎明中学校3年平澤葵さんの「好きなものの力」が選ばれました。

　審査委員長を務めた古川中学校の早坂先生からは、「読書の楽しさや学びの喜びを文章で表現していた児童・生徒が多くみられました。自分の考えをどのように表現するのか難しいことですが、これからもたくさんの本と出会い、多くの喜びや感動を味わってください」と講評がありました。

　入選作品集は図書館で借りることができます。皆さんも図書館にでかけ、たくさんの本と出会ってみませんか。

写真：入賞した皆さん

**●2018　1月の主な出来事**

|  |  |
| --- | --- |
| 1日 | ●第52回まつやま元旦マラソン＆ウォーキング大会 |
| 4日 | ●仕事始め  ●第10回宝の都（くに）・  　活性化貢献賞贈呈式並びに新春講演会  ●大崎市新年祝賀会 |
| 6日 | ●大崎市消防団出初式 |
| 7日 | ●大崎市成人式（古川地域・松山地域・三本木地域・鹿島台地域・岩出山地域・田尻地域） |
| 19日 | ●大崎市中心市街地復興まちづくり委員会 |
| 27日 | ●市役所本庁舎建設に伴う市民ワールドカフェ  ●世界農業遺産認定記念報告会「世界農業遺産推進フォーラム」 |

写真：平成30年度愛鳥週間用ポスター原画コンクールで日本鳥類保護連盟総裁賞を受賞。昨年度の環境大臣賞に続き２年連続の受賞　古川中学校3年　輪島佳南さん

**地域発　お・ら・ほ・の・ま・ち**

自分の住む地域を「おらほ」というと、親しみや愛着を感じませんか。

おらほの地域づくり、おらほの隠れた名所、おらほのおいしい特産品、おらほの伝統のまつり、おらほのイベント・・・。

そんな、愛してやまない「おらほの地域」を発信します。

**●三本木発　御神火に無病息災を願う**

1月14日、三本木地域恒例の裸参りが行われ、参加した約80人が大崎商工会三本木支所からどんと祭会場となる八坂神社までの約780ｍを練り歩きました。

　身を刺すような寒さの中、白鉢巻、白さらし、白足袋・わらじの装束に身を包み、含み紙を口にくわえ、御神火を目指しました。

　八坂神社に着くと拝殿でお祓いを受け、1年の無病息災、家内安全を祈願しました。

　境内には大勢の参拝者が訪れ、屋台や抽選会、締めくくりとなる「縁起餅まき」で、冬の寒空を吹き飛ばすような熱気に包まれていました。

写真：御神火を目指す参加者

**●大槌が打ち鳴らす、鍛錬の響き**

　1月5日、松山地域の日本刀鍛錬所で、恒例となる打初式が行われました。技術向上と安全を祈願する神事のあと、9代目法華三郎信房さんと長男の栄喜さんが、日本刀の材料となる「玉鋼（たまはがね）」を鍛えました。

　鍛錬を見学していた皆さんは、玉鋼を打つたびに会場中に飛び広がる火花の勢いに、驚いた表情を見せていました。

　「打ち終わった後は見学者の視線が体に染み込む。皆さんに力をもらっている」と話す信房さん。理想の刀に近づけるため、力に満ちた体で鍛錬が続きます。

写真：玉鋼を支える信房さんと、槌を振り下ろす栄喜さん

●懐かしい友との再会、地域が誇れる成人の誓い

　1月7日、鹿島台瑞・華・翠交流施設（鎌田記念ホール）で、鹿島台地域の新成人99人を対象に成人式が行われました。会場には家族席も用意され、孫娘の色鮮やかな晴れ着姿に、優しいまなざしを向ける様子もうかがえました。

　新成人たちは「一人一人が、自己と柔軟性を兼ね備えた大人として歩んでいく」と決意を誓いました。

　なお、同日は市内6地域（鳴子温泉地域は夏に開催）で成人式が行われ、1,099人が成人を祝いました。

写真1：鹿島台公民館「市民歌を歌おう講座」受講生が、祝福の歌声を披露

写真2：20年の思い出を胸に決意を誓う